

# 学校法人東洋大学 職員人材育成ビジョン

## 「挑戦と協働で未来を創る組織」を目指して

東洋大学は「諸学の基礎は哲学にあり」という建学の精神を礎に、「他者のために自己を磨き、活動の中で奮闘する」という『東洋大学の心』を受け継いできました。「何よりも学生のために」という想いと、「自分自身を磨くことが他者を助ける力となる」という認識のもと、挑戦と協働で未来を創る組織となることを目指します。

本ビジョンは東洋大学の職員が目指す姿、成長の方向性を示すものです。

### <背景>

昨今、大学が直面している課題として少子化、国際化、ダイバーシティ、経済情勢への対応等があげられ、その内容は年々、多様化・複雑化しています。加えて、急速に変化する社会課題への的確な対応が、大学に一層強く求められています。大学が提供する多様な学習機会の対象は社会人や海外学生を含め、さまざまな背景を持つ人々へと拡大しています。また、パンデミックは教育のデジタル化を加速させ、オンライン教育の充実やハイブリッド学習モデルの構築により、より柔軟な学びの選択肢を提供することが可能となりました。さらには、地域社会との連携や地域貢献活動を通じて、大学が社会全体の持続的発展や課題解決に積極的に関わる役割も一層重要になっています。

東洋大学の職員には、社会のニーズに応える大学としての在り方を再認識するとともに、多様な価値観を受け入れ、成長し続けることが求められています。さらに、生成AIやデジタル技術の急速な発展により、業務には新たな可能性が広がっています。これらの変化に柔軟かつ積極的に対応し、新たな技術を活用して業務効率を高め、仕事の価値を継続的に向上させ、大学発の新たな社会創出に貢献できる力が期待されています。

こうした背景を踏まえ、本法人の中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2025-2029」では、未来を見据えたビジョンの実現を目指しています。このビジョンの実現、そして多様かつ高度な変化に対応するためには戦略的な人材育成が不可欠であることから、「学校法人東洋大学 職員人材育成ビジョン」を策定することとなりました。

### <東洋大学職員の心>

## 「他者のために自己を磨き、挑戦する」

東洋大学の職員には「東洋大学の心」である「他者のために自己を磨く」「活動の中で奮闘する」を自身の根本に据えて、自己を磨き、積極的な挑戦が求められます。創立150周年を見据え、外部環境の変化に適応しながら、学校法人東洋大学の価値を持続的に向上させ、挑戦と協働で未来を創る組織を目指し、「他者のために自己を磨き、挑戦する」ことを東洋大学職員の心といたします。

## <目指す職員像>

大学には、「教育」「研究」「社会貢献」という三つの使命があります。これらの使命を高い水準で果たし続けていくためには、教員と協働し、職員という立場で常に何ができるかを考え、行動していくことが不可欠です。多様化・複雑化する社会の中で大学の存在価値を高めていくためには、部門の枠を超えた協働や新たな価値創造に挑戦する姿勢などが、より一層求められます。

こうした時代の要請に応え、職員自身が進むべき方向を明確にし、一丸となって大学の使命達成に取り組むことが重要であるため、「目指す職員像」を定め、人材育成を推進していきます。

職員一人ひとりが自身の哲学を持ち、自律的な意識や主体的な行動を基盤に据え、全学的な協働を通じて大学の使命を果たすため、次の3つを目指す職員像とします。

### ①誠実な人

- ・全ての取り組みを、最終的に学生の成長や社会貢献につなげようと考え行動できる職員
- ・物事を学生目線で捉える職員

◇具体的には、

- ・東洋大学の持続的発展や教職協働による「明るい未来を担う人材」の育成に尽力する強い思いがあること。
- ・大学で働く者としての倫理観を持ち、学生に対して平等に接し、公正で偏りのない支援をすること。
- ・学生目線を持ち合わせ、絶え間ない支援をすること。
- ・教育活動を支え、広く社会連携・社会貢献していく姿勢があること。
- ・着実な実行力と誠実な対応で、ステークホルダーの信頼を得られること。

### ②自己を磨く人

- ・日々の取り組みに挑戦と創意工夫を持ち込むことができ、それを積み重ねて成長し続ける職員
- ・困難な状況であっても前向きに取り組み、自己の成長の糧であると考える職員

◇具体的には、

- ・環境問題や人口問題など今後待ち受ける問題を大学の問題として捉えること。また、それらを自身が対応すべき問題と捉え、主体的に動くこと。
- ・高度化及び複雑化していく社会の課題解決や社会ニーズに応えるため、その時代に求められるスキルや知識等を常にアップデートし、自己の成長及び組織の成長のために邁進していること。
- ・大学職員のプロフェッショナルとしての意識をもち、専門分野を極め、AI等で代替できないことを遂行する職員でいられるよう不断の努力を継続すること。

### ③挑戦する人

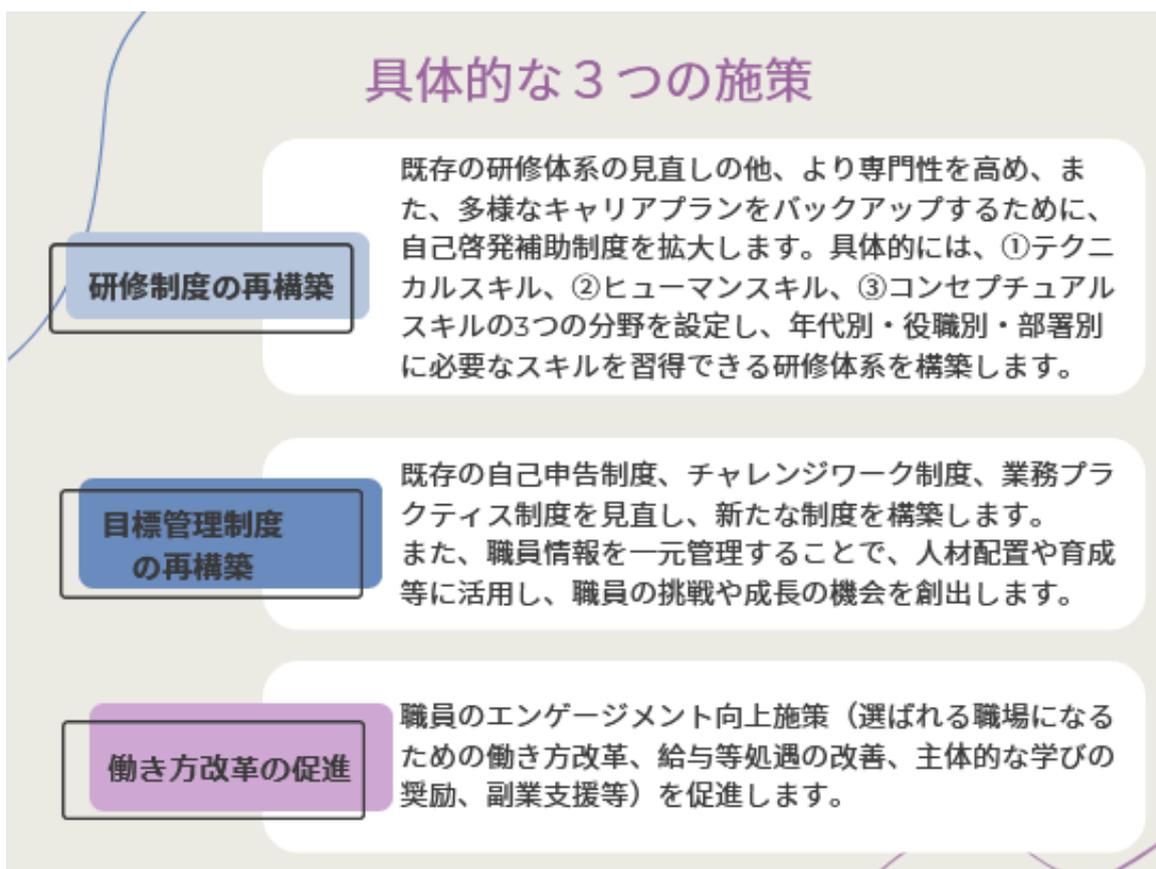
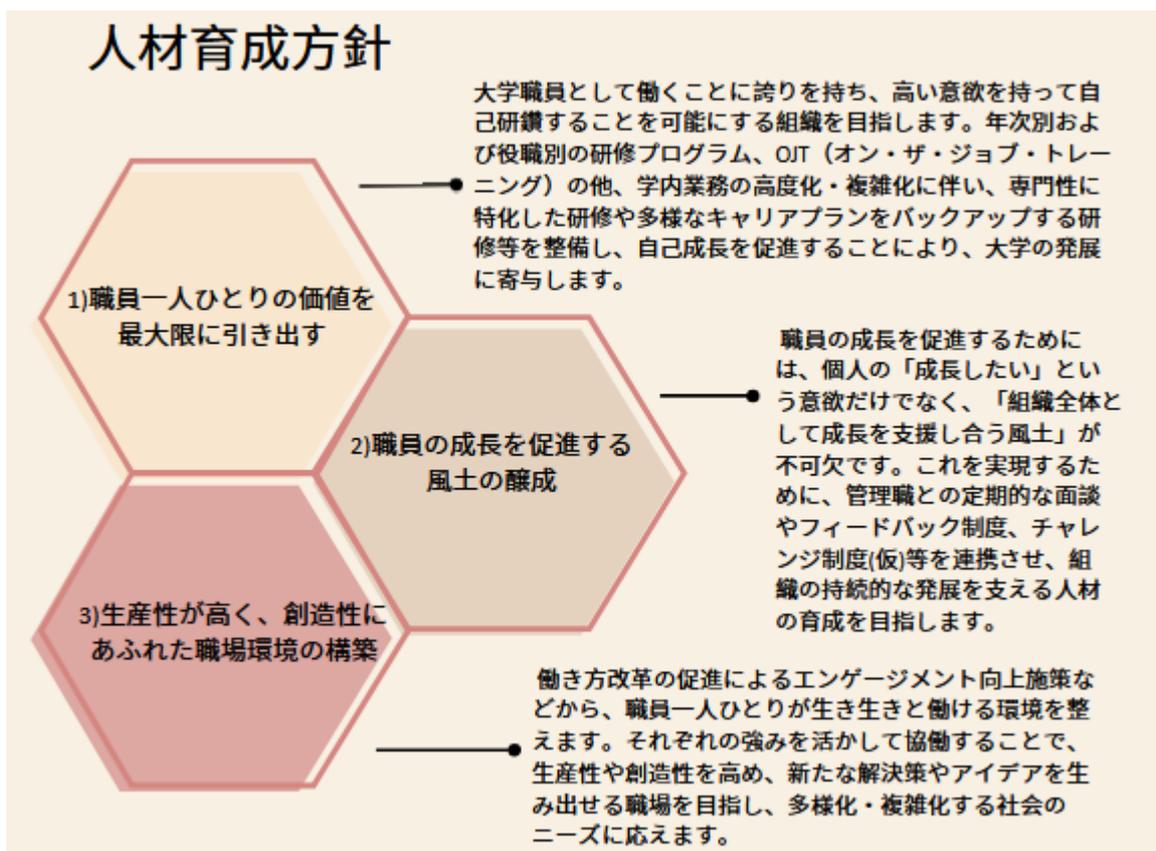
- ・行動しない理由を考えるのではなく、実現するための方法を考えられる職員
- ・変化する時代に柔軟に対応しながら、先を見据え主体的に行動する職員
- ・新しい価値を創造し、東洋大学の未来を切り拓くための挑戦を続ける職員

◇具体的には、

- ・地域社会や国際的なネットワークを積極的に構築し、情報を収集・活用しながら、自ら提案し、主体的に行動すること。
- ・従来のやり方にとらわれず、新たなサービスや施策を自ら発意・推進する積極性を持つこと。
- ・予測不可能な時代に生き残るため、グローバルな視点でマルチタスクにより業務を遂行すること。
- ・研究活動の伴奏者となり、世界をリードする研究成果創出への挑戦を後押しすること。

## <職員人材育成方針>

これらの「目指す職員像」を実現するためには、個人の努力にとどまらず、組織として計画的かつ体系的に人材を育成していくことが不可欠です。そこで東洋大学では次の3つの方針に基づき、職員の人材育成に取り組みます。



本ビジョンにおいて「学生」とは、本法人が設置する幼稚園、附属中学校・高等学校、および大学における「園児・生徒・学生」の総称として用います。また、「大学」という表記は、「東洋大学および各設置校」を指すものとします。